

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
子ども療育ステーションここふわ 港川		2026 年 4 月 1 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		スペースを確保するために活動での使用備品はその都度出し入れを行っている	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5			利用人数、配置上問題はないが、感染症等で複数人が休みになった場合は、他事業所と連携をとっていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		毎日清掃を行っている。 状況に合わせて配置変更を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		各スペースの使用方法は児童にも共有している。そのうえで個別の部屋の使用が必要な児童にはその都度スペースを設けて使用している	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	2	3		今回の評価表によってご意見をいただけたので今後の業務改善、資質向上につなげていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	月のミーティングや出勤時間が違う職員にもLINEなどで共有している。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		現在、第三者による外部評価を行っています。今後のよりよい環境づくりの為の検討課題としています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・自身が気になる研修や受けてみたい講習等がある場合にも受講の機会や費用の負担をしてもらえる ・外部研修への参加や情報の共有、法人内での研修参加の機会がある	開催時期や時間が異なるので、職員が多く参加できるように検討していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		公表内容も全員で共有している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5			支援者全員で意見を出し合いすり合わせを行って共通理解を持ったうえでの作成、計画をしています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5			支援内容にずれがないよう、計画案共有時にも会議の場をしっかりと持ち、より深く共通理解に結び付けていきたいと思っています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	1		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		固定化しないように職員同士意見を出し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		児童の意見も聞きながら活動内容を組んでいる	同じ内容のものは極力避け、前回よりもルール変更や備品を変えて行うなど常に新鮮な気持ちで取り組めるように行っています。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			個々の支援内容に合わせるとどうしても集団活動が多くなりがちなので、個別活動のプログラムも充実させていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		出勤時間が違う職員にも共有できるよう1日の送迎の流れや当日の活動内容を見えるように記録している。LINEやノートでも共有している	勤務時間の都合上、毎日全員で確認、振り返る時間をとることが難しい時があるので共有方法を強化していきたいと思います。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		勤務時間の都合上、全員で集まってできない時は、データ上での共有などを行っている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	LINEやノートに記録、または日報や業務ソフト内に記録している	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	1		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		情報詳細共有、事業所内での支援に活かすためにも参加可能な時は、支援に関わる職員複数人で参加することもある	利用者の様子や学校、ご家庭の様子など関係機関が集まり情報共有できる大事な場であるため、今後も積極的に参加していきたいと思います。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			現状、連携をとる機関が多くないので今後の支援体制を整えるために保健、医療分野は特に幅を広げていきたいと思っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		学校側への電話問い合わせは基本的にNGとなっていて、情報獲得が遅くなってしまうことがあるので送迎時に学校での様子を直接先生に聞いたり、送迎や利用に関しては保護者へ連絡をとって対応しています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			移行する児童がまだいないので、こちらで把握している情報等は共有できるようにも事前に資料作成を行っています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		5		設けていないため、地域のセンターとの連携を図る流れを検討していきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		5		今年度は交流する機会を作れるよう検討していきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		協議会についての情報収集が不足している為、今後は事業所全体で関わっていききたいと思います。

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5		送迎時に児童の様子をお伝えしたり、家庭での様子を聞いたりコミュニケーションをとりながら日頃から情報共有を行っている	引き続き、送迎時やLINE、電話などで出来る限り保護者様へ迅速に伝えることができるようにしていきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		利用開始時やお知らせがあるときは説明を行うように心がけています	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1		日頃の会話の中からも確認できるような関係性をつくり、しっかりと意向のすり合わせを行っていききたいと思います。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		日ごろより、といつでも事業所への来所やご相談（LINE）等が可能なようにご家族と相談員さんと連絡をとりあっています	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。		5		コロナなどの感染症の時から中々実施できていない現状なので、保護者様のニーズにお応えできるような企画を検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		発信があった場合はすぐに事業所内でも情報共有を行い、迅速な対応を心掛けています	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	1		HPの更新、その他SNSに関しての情報を発信できていないので積極的に活用していききたいと思います。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		保管方法については事業所内で取り決めをしている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		招待型の行事は企画出来ていないので、今後検討していきます。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2	マニュアルはあっても全ご家族には周知できていません。 避難訓練は様々なケースに備えた内容で月1回行っています。マンネリ化しないように、曜日等や訓練内容もランダムに実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		毎年お子様カルデの記入や提出、更新を行っているので全職員で把握しています	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			保護者からの情報提供のみになっているので、今後は専門機関からの対応の指示等があるか詳細を確認して対応していきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		訓練、マニュアル同様、保護者様への周知がまだ不足しているかと思われるので、HPやおたよりなど様々な方法で実施している内容を共有できるように検討します。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		MTGやLINEを活用し、都度共有と検討を行っている	

	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		外部研修への参加や社内での研修を行っています	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		活動中に過剰に刺激を感じやすい子どもには、静かな場所での活動を優先したりと身体拘束を行わない支援をしています	身体拘束は行わない形での支援としています。該当するケースが今後あった場合は、しっかりと説明を行っていきます。